

稲庭うどん

秋田県

手延べ製法による秋田南部発祥の干しうどん。平らな細麺で、しっかりしたコシとのごしの良さが特徴。製法や産地が限定されており、それ以外のものは「稲庭うどん」とは名乗れないそう。



ニッポン 麺探訪 第3回

日本全国の
麺文化をご紹介します！



文／はんつ遠藤

1966年生まれ。早稲田大学卒業後、海外旅行雑誌のライターを経てフードジャーナリストに。取材軒数は8500軒を超える。『週刊大衆』『JAL 旅プラスなび』『東洋経済オンライン』などで連載中。著書多数。

一子相伝、門外不出の
お殿様のうどん

雄大な自然に囲まれた秋田県湯沢市稲庭町。栗駒山から流れ出る皆瀬川の清冷な水と、豊かな土壌に恵まれた山間の小さな集落で「稲庭うどん」は誕生した。

江戸時代初期、秋田藩稲庭村小沢集落で各種麺類を製造していた佐藤市兵衛の技術を、初代稲庭（佐藤）吉左衛門が受け継ぎ、改良を加えて寛文5年（1665年）に製法を確立させたと言われている。それから約100年後の宝暦2年（1752年）、稲庭うどんは秋

田藩主・佐竹侯の御用達となった。その技法は一子相伝、門外不出だったが、二代目佐藤養助に特別に伝授され、2社での製造が続いた。「つい最近まで、お殿様とか特別な方しか食べられなかったんだよ」と秋田の友人が自慢げに話す。その製法は実に複雑だ。まず、小麦粉に塩水を入れて練ったあと、数時間かけて何度ともみ直す。そして「手廻い」という製法で麺を2本のさおに8の字にかけ、120cm程度になるまでのばし、乾燥させてから完成となる。そうめんに似た作り方だが、麺のコシが明らかに違う。そうめんのように油を

使っていない点も特徴の一つだ。

2種類のつゆで頂く コシのあるざるうどん

稲庭うどんは温かいつゆをかけて食べるのもいいが、イチオシはざるうどんタイプ。見た目からして完成された美しさだ。早速頂くと、極細のストレート麺はつるつるとした口当たりで、ゆで加減はパスタのアルデンテのごとく、硬めでコシのある仕上がり。

この麺を、かつおなどのだしが効いた濃いめのしょうゆつゆにつけてすすする。隙のない仕事に「さすがはお殿様に献上された逸品だ」と感服していたら、ごまみそベースのつゆもあり、これまたまろやかなごま風味が広がって、美味！本場で食べる稲庭うどんは、現地のほのぼのとした空気や美しい風景と相まって、格別においしく感じる。もともと2社でしか製造していなかったうどんが全国に広まったのは、昭和47年（1972年）、地場産業育成のために七代目佐藤養助が製法を公開したのがきっかけなんだそう。ということ は、ちまたで口にするようになってからまだ40年ちょっと。そんな話を伺いながら稲庭うどんを味わえば、何だか自分がお殿様に なった気分までしてきた。

CONTENTS

2 ニッポン麺探訪 第3回
稲庭うどん [秋田県]

4 特集1
鯨

14 特集2
鰻

18 今月の農林水産大臣賞 vol.3
手をかけてあげると、貝は応えてくれる
愛情込めて育て上げる真珠

20 MAFF TOPICS
NEWS

「農林水産業の輸出力強化戦略」を発表
トルコで「アンタルヤ国際園芸博覧会」を開催中
農業を始める人を応援する「新農業人フェア」
地域産品の魅力を見直す
「みんなではぐくむ♪にっぽんの食」
夏休み恒例「子ども霞が関見学デー」
あふラボ
「地元産アサリ」を育て、アサリ資源復活

23 読者の声

表紙／「象と鯨図屏風」（左隻）伊藤若冲（MIHO MUSEUM 所蔵）

○広報誌「aff(あふ)」について

農林水産業や農山漁村は、食料の安定供給はもちろんのこと、国土や自然環境の保全、良好な景観の形成などの多面的機能の発揮を通じ、国民の皆さまの毎日の生活において重要な役割を担っております。また、農林水産行政は、生産などの現場に密着したものであると同時に、毎日の生活に深く関わっています。農林水産省では「aff」を通じ、農林水産業における先駆的な取り組みや農山漁村の魅力、食卓や消費の現状などを紹介しております。

○ホームページのご案内

「aff」は農林水産省のホームページでもご覧になれます。
<http://www.maff.go.jp/j/pr/aff/>

○編集・発行 農林水産省大臣官房広報評価課広報室

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
TEL 03-3502-8111（代表） FAX 03-3502-8766 <http://www.maff.go.jp/>

○編集協力 株式会社KADOKAWA

〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3
TEL 03-3238-6255 FAX 03-3238-5832 <http://www.kadokawa.co.jp>
編集／武蔵おりえ 西上範生

アートディレクション／片野宏之（Zapp!）
デザイン／柳田美樹（Zapp!）

本誌に掲載した論文などで、意見にわたる部分は、それぞれ筆者の個人的見解であることをお断りします。

